

現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 気に入った遊具や遊びを見つけ、繰り返し遊んでいる。 生活の流れが分かるようになり、身の回りのことを自分でしようとしたり、出来ないことを「手伝って」と、いえるようになってきたりしてきている。 遊びや片付けで友達とトラブルになると衝動的に手が出ることもある。 戸外での遊びをととても喜ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの清潔に気付き、衛生習慣を身に付ける。 友達や異年齢児と共にルールのある遊びや好きな遊びを楽しむ 梅雨期の身近な動植物に興味をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断 12日 幼児集会 20日 お話し会 15日 英語であそぼう 8日 22日 プール開き 29日 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣が少しずつ身についてきている。 何をするのに初めの経験なので、時間をかけて丁寧に説明をしたり、一緒に取り組むことで習得できる子が増えてきている。 片付けや物の貸し借りなど、クラス内でのルールが少しずつわかるようになってきているので、子ども達が自分から取り組む姿が多く見られるようになった。
内容	環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り	
<p>養護(生・情)</p> <p>教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体調を崩しやすい時期なので一人一人の健康状態を把握し、異常に気付いた時は適切に対処していく。 室内の気温や湿度に気を配る。 身の回りのことを自分で行おうとする姿を見守りながら、できた喜びが感じられるように声かけをしていく。 汗をかいたり、洋服が汚れたり時は保育者に訴え自分でも着替えようとする。 正しい手洗いの仕方を知る。 友達や異年齢児と関わりながら遊びを真似するなどして一緒に遊ぶ。 雨の様子を眺めたり音を聞いたり触れたりして様々な発見をする。 泥遊び等で砂や水の感触を楽しむ。 絵本や紙芝居の内容に興味をもち繰り返し見たり読んでもらったりしながら、言葉のやりとりを楽しむ。 はさみの持ち方や扱い方を教えてもらいながら、紙を切ったり、のりの量に気を付けながら貼ったりして製作をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の換気を行い、温度や湿度を調節し、快適に過ごせるようにする。 お茶を準備しておく。 着替えなどをやりやすい様にスペースを確保して時間にゆとりを持って設定するなどする。 支度がしやすいように、洋服の準備を保護者に伝えておく。 手洗いの仕方の絵を貼ったり、石鹸を使いやすいように配置したりする等して準備する。 異年齢と触れ合える機会を設ける。 雨や季節にちなんだ絵本や紙芝居、図鑑などを、いつでも見られるように用意する。 いつもと違う玩具を用意し興味を持たせる 子ども達が理解しやすい内容の絵本や紙芝居を用意する。 落ち着いて集中できるように、少人数ずつ行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の体調を把握し、活動内容に無理のないようにする。 こまめに水分補給をするように声をかけていく。 自分でやろうとする気持ちを大切にしながら必要に応じて援助し、出来たときには褒めたり励ましたりして自信が持てるようにしていく。 自分でできるよう見守り、必要に応じて声をかけていく 活動後の手洗いやうがいと一緒にやって見せたり、手を添えて一緒に行ったりして正しいやり方を知らせていく。 子どもの思いに共感しながら疑問や興味を持った事を一緒に調べたり試したりする。 泥や水が苦手な児には無理なく楽しめるように配慮し、ダイナミックに遊べる児にはより感触を楽しめるように関わっていく 子どもの気持ちを受け止めながら会話が弾むように話かけ、安心して気持ちが表現できるようにする。 保育者が手を添えながら、一人一人にはさみの持ち方動かし方を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の受け入れや連絡ノートの確認などをきちんと行い、担任間で情報の共有をすることができた。 サーバーをセットする事で、子ども達が自分で必要な時間に水分補給ができるようになった。 身体計測や泥んこ遊びなどで、着替えをする時に時間をかけて丁寧に教えた事で、一人一人の意識が高まってきた。 個々の子どもの様子を把握して、その子にあった声をかけるようにした。 手洗いやうがいの場所を確保したり、保育士も一緒に並んで手洗いをすすして、手本となる様に日頃から心掛けるようにした。 カレー会食などの異年齢とも交流は、不安にならない様に担任が個別にテーブルを回って声をかけ、様子を把握するようにした。 泥んこ遊びでは、保育士と一緒に遊びことで楽しい時間を共有しながら、泥の感触を楽しんだ。 一人一人との関わりを大切に、気持ちを受けとめ信頼関係が深まるような関わりを行った。 時計の制作では、自分たちから積極的に参加できる様な取り組みを心掛けた。 	
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> 育てている野菜の成長や変化に興味や関心をもつ 食事の準備、片付けをやるみる。 クッキングを行い食事や食材への興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレンダーを見やすい場所に置き、観察をしやすくする。 配膳台に分かり易くトレーを並べる。 事前に必要なものを家庭にも伝える 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒に世話をしたり、食材にまつわる話や絵本を見せたりして興味をもてるようにする。 子どもが配膳台に行きやすいよう動線をつくり、分かり易く伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 小松菜の収穫をする事で、子ども達の興味を引き出せた。 食事のマナーを知りながら、楽しく美味しく食べられる様な雰囲気作りを心掛けた。 	